

平成20年3月25日

各位

会社名 児玉化学工業株式会社
代表者名 取締役社長 宇川 進
(コード番号 4222 東証第2部)
問合せ先 経理部長 大橋輝男
(TEL. 03 - 3834 - 0511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年10月23日に公表した業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成20年3月期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	22,000	770	600	700
今回修正予想(B)	21,500	580	430	650
増減額(B-A)	500	190	170	50
増減率(%)	2.3	24.7	28.3	7.1
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	21,185	440	400	79

2. 平成20年3月期個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	15,000	300	310	290
今回修正予想(B)	14,000	120	110	100
増減額(B-A)	1,000	180	200	190
増減率(%)	6.7	60.0	64.5	65.5
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	15,135	282	321	216

3. 修正の理由

(1) 個別の業績につきましては、住宅関連業界における耐震偽装の再発を防ぐための改正建築基準法の施行により、建築確認申請への許可の遅れなどによる新築住宅着工戸数の急減の影響が第4四半期に入り顕著となってきましたが、一方で期末に向けての住宅設備業界全体での底上げ、需要リバウンド期待の一部情報もありましたが、自動車部品及び機械事業での堅調な受注では埋めきれない状況が確実となりました。また、OEM事業全体における原材料の高騰の影響も約半年間のタイムラグの解消が見込めず収益復元の見込みが立っておりません。

更に、本年度末までに予定しておりました横浜工場の売却時期について、来年度にずれ込むことが確定的となり、当期単体の利益底上げが難しくなりました。

(2) 連結の業績につきましては、タイ及び中国・天津での業績拡大により、単体での業績修正の影響を緩和される見通しとなっております。

(注) 上記の予想は本資料発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれています。実際の業績は今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上